

シカの食事と子育て

知和ウェットランドでは、春になるとシカがときどき姿を現します。おもに陸上の草を食べているようですが、池の中での食事風景もめずらしくありません。写真は昨年6月に写したもので、水底のアオミドロ類をたくさん食べていました。また、今年の7月には、もう少し深いところで、ヒシを食べていました。水面の葉をくわえて持ちあげると、長い茎と根っこがズルズルと付いてきます。根っこには泥が付いているので、首を前後にふって泥を洗い落としたあと、ゆっくり優雅にぜんぶ食べていました。



このシカは雌の成体で、昨年も今年もウェットランドの中で子供を産んだようです。ただし、子ジカの姿はごくまれにしか見ることができません。離乳が済むまでは、ほとんどの時間、草むらの中にうずくまっているようです。先日も、子ジカの姿が見えたので急いでカメラを取りに行ったら、もう消えていて、母ジカだけが悠々と餌を食べていました。

野生ジカの姿はとても優雅で、心がなごみますが、毎年子ジカが無事に育っていることは、心配の種でもあります。ハイヅカ湖周辺に暮らすシカは、まだごく少数のようで、田畑や山林の食害といったことは聞きませんが、今後頭数が増えてくれば、顕在化するかもしれません。優しく厳しく見まもっていきましょう。